

長泉町橋梁長寿命化修繕計画

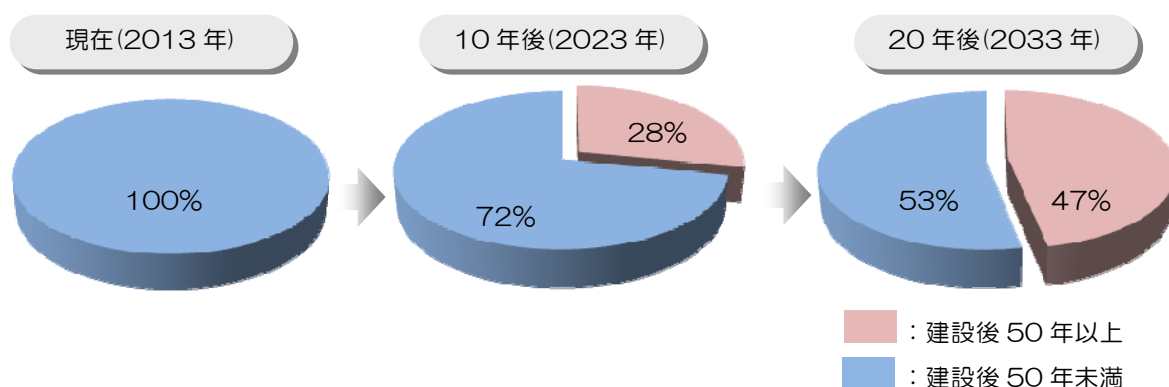


平成 25 年 4 月

 長 泉 町

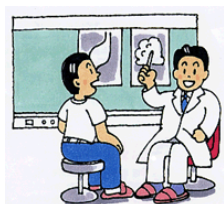
1. はじめに

長泉町が管理する道路橋 141 橋（2013 年 4 月現在）のうち、橋長 15m以上の橋梁と重要な道路ネットワーク上の橋梁が 51 橋あります。このうち、建設後 50 年を経過する高齢化橋梁の割合は、現在（2013 年）は 0%ですが、10 年後には 28%、20 年後には 47%と増加していきます。このような背景から、今後増大が予想される橋梁の修繕や架け替えに要するコストを可能な限り縮減し、併せて中長期的な維持管理コストの抑制に向けて、計画的かつ予防的な維持管理により橋梁の長寿命化を図ります。



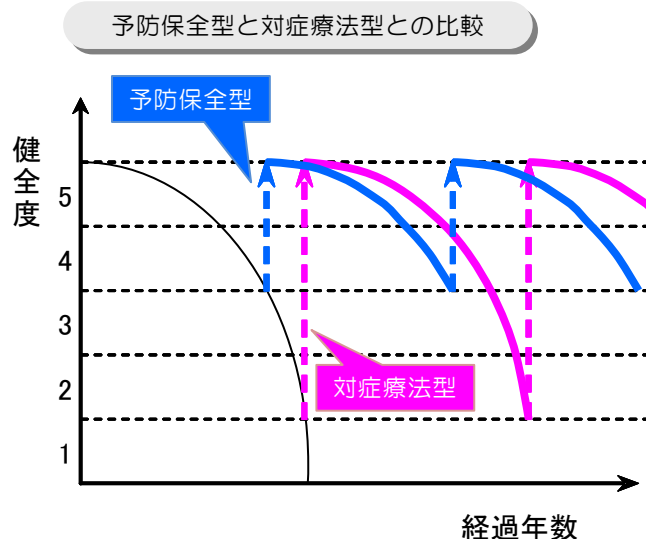
2. 計画の基本方針

橋梁を長寿命化（長生き）させるためには、人と同じように考えることが大切です。



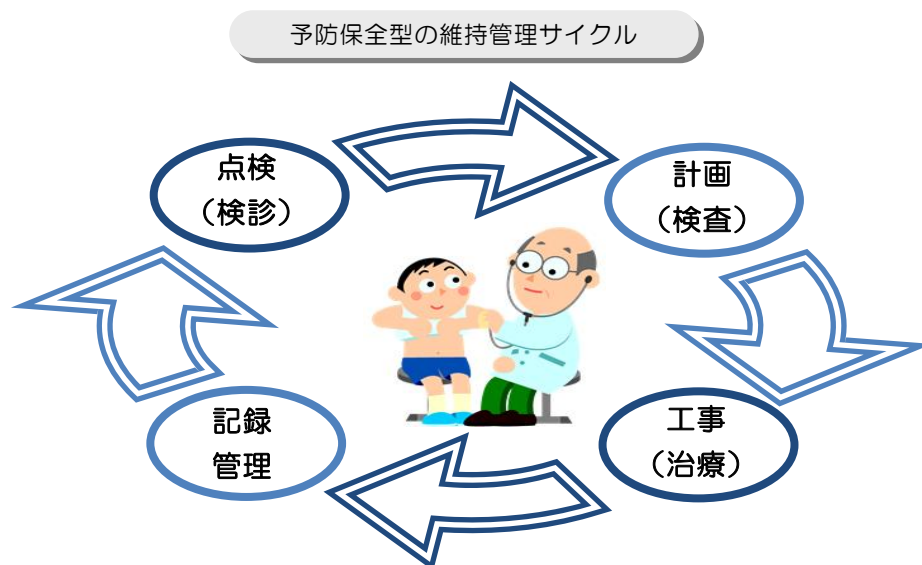
橋梁も人間と同じように「健康診断」を定期的に行うことで、異常・損傷の早期発見ができ、長寿命化につながります。

本計画では、これまでの壊れてから直す「対症療法型の維持管理」から、損傷が小さい段階から計画的な補修を行う「予防保全型の維持管理」への転換を図ります。



「予防保全型維持管理」の実施フロー

定期的に橋梁の点検を実施し、損傷状況の把握に努めます。



3. 橋梁点検

長泉町では、2010, 2011(平成 22, 23)年度の2カ年にわたり、「道路橋に関する基礎データ収集要領(案)/国土交通省国土技術政策総合研究所(平成 19年5月)」に基づき、重要な道路ネットワーク上に架かる橋の点検を実施しました。主な損傷事例を以下に示します。



これらの損傷は、今後、早期に補修を実施していく計画です。

橋梁点検は、今後も、概ね5年に1回の頻度で定期的を実施していきます。また、橋梁を良好な状態に保つため、道路パトロールにおける日常点検や清掃などを実施していきます。

4. 長寿命化修繕計画の策定

本計画は、「予防保全型の維持管理」を基本方針として、以下の手順で策定しました。

■各橋梁の健全度評価

健全度は、損傷範囲の大きさや状態によって右の5段階に分類し、各橋梁の各部材に対して、橋梁点検の結果から健全度評価を実施します。

健全度1	機能停止の恐れ
健全度2	劣化損傷(大)：直ちに補修実施
健全度3	劣化損傷(中)：補修開始
健全度4	ほぼ健全：経過観察
健全度5	健全

■補修の優先順位

健全度評価の結果、健全度3以下と評価された橋梁を優先的に補修するよう計画します。また、健全度4以上と評価された橋梁は、静岡県が示す劣化の将来予測資料に基づき補修時期の計画を行います。

■計画の平準化

急激な財政の増減を緩和するために、補修時期の前倒しなどによって全体計画の平準化を行います。

■長寿命化修繕計画

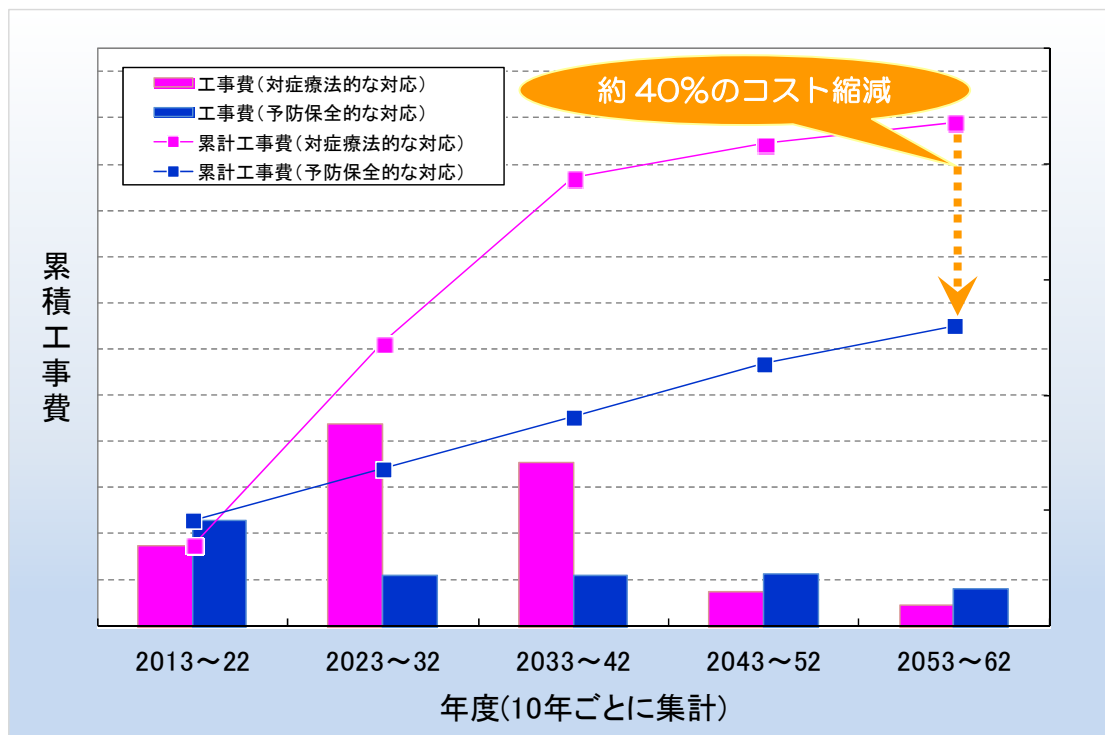
策定した長寿命化修繕計画のうち、当面10年間の計画を示します。なお、この計画は、今後実施する点検の結果や、災害対応等により変更となる場合があります。

長泉町橋梁長寿命化修繕計画（当面10年間の計画）

年度	種別	予定橋梁数
2013(平成25)	補修工事	4橋
2014(平成26)	補修工事	1橋
2015(平成27)	補修工事	2橋
2016(平成28)	補修工事	3橋
2017(平成29)	補修工事	6橋
2018(平成30)	補修工事	3橋
2019(平成31)	補修工事	2橋
2020(平成32)	補修工事	2橋
2021(平成33)	補修工事	2橋
2022(平成34)	補修工事	1橋

5. 長寿命化修繕計画の効果

「対症療法型の維持管理」から「予防保全型の維持管理」へ転換することにより、今後 50 年間で約 40%のコスト縮減が見込まれます。



6. おわりに

本計画の策定にあたっては、「長泉町橋梁長寿命化修繕計画策定委員会」を設置し、橋梁の専門家として、岐阜大学 社会資本アセットマネジメント技術研究センター 村上茂之准教授のアドバイスをいただきながら、とりまとめを行いました。

今後も点検を継続して、今回策定した長寿命化修繕計画の妥当性や補修効果について評価・分析を行い、必要に応じて本計画の検証・見直しを実施していく予定です。



本計画に関するお問い合わせ先
長泉町役場 工事管理課
TEL/055-989-5518
FAX/055-986-5905
E-mail/koji@nagaizumi.org